



2012年文系第1問

1 次の設問の空欄を、あてはまる数値や記号、式などで埋めなさい。

(1) $(2x + 3y)^3 + (2x - 3y)^3$ を展開すると になる。

(2) $-1 < a < 0 < b < c$ とするとき、

$$-\frac{a}{c}, \frac{a}{c}, \frac{1}{ac}, -\frac{1}{ab}, -\frac{1}{ac}$$

の5つの数のうち、小さい方から2番目の数は であり4番目の数は である。

(3) $\frac{\pi}{2} \leq \theta < \frac{3\pi}{2}$ のときに

$$2\sin^3\theta - \sin\theta = 0$$

の解をすべて記すと である。

(4) a, b を定数とする x に関する3次方程式

$$2x^3 + ax^2 + bx - 10 = 0$$

の2つの解が $x = 1, 2$ であるとき、 $a =$, $b =$ であり、もう1つの解は である。

(5) P, E, N, C, I, L の文字が1つずつ刻まれているタイルが6枚ある。これらを横1列に並べるとき、P がEより左で、かつ、NがEより右となる確率は である。

(6) a を定数とする方程式 $x^3 - 6x^2 - a = 0$ の異なる実数解は、 a の値が の場合には3個、 または の場合には2個、 または の場合には1個、それぞれ存在する。

(7) α を実数として、空間における原点Oと2点 $A(-1, \alpha, \alpha)$, $B(1, 2, \alpha)$ を考える。 \vec{OA} と \vec{OB} の内積 $\vec{OA} \cdot \vec{OB}$ を最小にする α の値は であり、このとき、三角形OABの面積は である。

(8) 点Oを中心とする半径1の円の円周上に点Aをとり、点Aにおける接線上に $AB = 2$ となる点Bをとる。次に、点Bから $BC = 2$ となるように円周上に点Aとは異なる点Cをとる。このとき、三角形OACの面積は であり、 $\sin \angle CAB =$ である。

